

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

全羅北道扶安郡の肉用あひる農家でAI疑い事例届出

(2014年1月18日15時55分付け 農林畜産食品部プレスリリース)

出典URL: http://www.maf.go.kr/list.jsp?&newsid=155445248§ion_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2014&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=2&parent_code=3&popup_yn=N&tab_yn=N

(機械翻訳に基づく仮訳)

農林畜産食品部は2014年1月18日、全羅北道扶安（プアン）郡の肉用あひる農家でAI疑い事例が届出されたと明らかにした。

2014年1月18日、農家の届出を受け、全北畜産衛生研究所で現地確認した結果、斃死数の増加（1月18日現在、300羽）等、AIを疑う症状を見せていることから、農家の移動制限等AI対応マニュアルに基づき措置を行っている。

- 1次発生農場（高敞（コチャン）郡の種あひる農場）から北に8.7kmの場所
- 2次発生農場（扶安郡の肉用あひる農場）から南に1.3kmの場所

現在AIの検査のための試料を農林畜産検疫本部に輸送中で、高病原性かどうかの検査結果は、1月20日の午後に出る予定だと明らかにした。

※本情報は、韓国農林畜産食品部公表情報が、1月18日に公表した情報について、機械翻訳に基づき仮訳したものです。